年間授業計画　様式例

# 東京都立つばさ総合高等学校 令和７年度（１学年用）　　教科　芸術　　科目 工芸Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：工芸Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組

教科担当者：

使用教科書：（ 工芸Ⅰ（日本文教出版）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　工芸Ⅰ　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 | 主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 身 | 表現 社 | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | A単元　「等角図」<br>⑴身近な生活と工芸　鑑賞<br>【知識及び技能】<br>・等角図を理解する。<br>・三面図から等角図を描く。逆も行う。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・三面図を正確に読み取り表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・振り返りシート<br>・粘り強く課題に取り組む。 | ・指導事項・等角図と三面図<br><br>・教材　等・プリント<br>スタイロフォーム　カッター<br>パソコン | ○ | | ○ | 【知識及び技能】<br>・等角図が理解できているか。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・三面図を正確に読み取り表現しているか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・粘り強く取り組もうとしている。<br>・試行錯誤の経過が振り返りシートに書かれており、より深く学ぼうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | B単元　「木目込みのトレー」<br>⑴身近な生活と工芸　鑑賞<br>【知識及び技能】<br>・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表す。<br>・木目込みについての知識を調べ、班ごとにまとめて発表する技術を高める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・木目込みのトレーの用途と美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現のよさなどを生かした制作の構想を練る。<br>・身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取り、制作に生かす。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・振り返りシート<br>・粘り強く課題に取り組む。 | ・指導事項<br>・木目込みの歴史と文化<br>・木目込みの技法<br>・調和のとれたデザインを考える<br>・教材　等<br>・スタイロフォーム、ちりめん布など<br><br>個人、グループ学習用Teams課題配信 | ○ | | ○ | 【知識及び技能】<br>・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。<br>・用語をインターネットなどで調べてまとめ、班ごとに個人学習を持ち寄り協同学習の技術を高める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>木目込みのトレーの用途と美しさとの調和を考え、日本の伝統的な表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている。<br>身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取り、制作に生かしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・粘り強く取り組もうとしている。<br>・試行錯誤の経過が振り返りシートに書かれており、より深く学ぼうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 24 |
| 2学期 | C単元「木のスプーン」<br>（2）社会と工芸<br>鑑賞<br>【知識及び技能】<br>・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表す。<br>・アイデアスケッチから製図を描く。<br>・スプーンの種類を調べ、班ごとにまとめて発表する技術を高める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・木材の木目やつやなどの特性を生かし、用途と美しさとの調和を考え、創造的に表す。<br>・使用する場面や人を想定した発想や表現をする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・振り返りシート<br>・粘り強く課題に取り組む。 | ・指導事項<br>・素材の特徴と加工<br>・アイデアスケッチ、製図<br>・工具の使い方<br>・仕上げについて<br>・教材　等<br>個人、グループ学習用Teams課題配信 | | ○ | ○ | 【知識及び技能】<br>・設定した対象者に応じてデザインと制作方法を創意工夫し、創造的に表している。<br>・アイデアスケッチから製図を描くことができる。<br>・種類をインターネットなどで調べてまとめ、班ごとに個人学習を持ち寄り協同学習の技術を高める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・木材の木目やつやなどの特性を生かし、用途と美しさとの調和を考え、創造的に表している。<br>・使用者の視点に立って使用感やデザインを試行錯誤し表現できている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・粘り強く取り組もうとしている。<br>・試行錯誤の経過が振り返りシートに書かれており、より深く学ぼうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 24 |
| 3学期 | E単元　「籐のかごを編む」<br>⑴身近な生活と工芸　鑑賞<br>【知識及び技能】<br>・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表す。<br>・アイデアスケッチから型紙を作る。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・籐の特性を生かし、用途と美しさとの調和を考え、創造的に表す。<br>・身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取る。<br>・制作過程における工夫や素材の活かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深める。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・振り返りシート<br>・粘り強く課題に取り組む。 | ・指導事項<br>自宅などにあるかごを調べ、用途や美しさについて話し合う。<br>小物を入れる小さなかごを作る。<br>・教材　等<br>籐　目打ち　おけ　など<br>個人、グループ学習用Teams課題配信 | ○ | | ○ | 【知識及び技能】<br>・意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。<br>・アイデアスケッチから型紙を作れる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・籐の特性を生かし、用途と美しさとの調和を考え、創造的に表している。<br>・身近な生活の視点に立ってよさや美しさを感じ取っている。<br>・制作過程における工夫や素材の活かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深めている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・粘り強く取り組もうとしている。<br>・試行錯誤の経過が振り返りシートに書かれており、より深く学ぼうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14<br>合計<br>70 |